われら同級生

—439—

飯田高校山岳班
昭和37年卒同期会

節目の古希を迎え

第9回山岳班三七会を5月26日に松川町清流苑で開催、翌日27日には在郷のゴルフ好きに参加いただき、高森カントリークラブで3組9人のコンペを行いました。

山岳班三七会は顧問の鋤柄先生と山岳班員6人（関東から4人・関西から2人）、在郷同期の友5人の総勢12人の出席を得て開催いたしました。鋤柄先生の乾杯音頭「いつまでも元気でこの会が続くことを祈念して乾杯」で開会致しました。

今年は顧問の先生及び山岳班員7人名が完全に揃い踏みの予定でしたが、年のせいか期近になって一人欠け、自治会の行事のために当日もう一人が不参加になってしまいましたが、飯田在住の中島伊佐夫君が新たに仲間入りしてくれたことに感謝し、出席できた喜びを分かち合い、心行くまで談笑、最後に全員が近況報告（あそこ悪い、ここ悪いとの）で2時間もほんの数分に感じました。

幹事から「次回も皆元気で会いましょう。取り敢えず中締めをして、部屋に帰って心行くまで飲み直しましょう」との一本締めで解散、部屋に帰っての二次会も大変盛り上がりましたが、年ごとに飲む量も減り、就眠時間も早くなって、さすがに寄る年波には勝てなくなったな～と感じる次第でした。

我々山仲間は飯田高校を昭和37年に卒業、はや古希を迎える年になりました。卒業時の班員は9人（うち2人は彼の世へ）、毎年一度伊那谷の地で5月最後の日曜日に集まろうと決めてから9年にもなります。毎年同時期開催がスケジュールも決めやすいとの意見で開催して参りました。

今年も高校生であった頃に帰り、大変楽しいひと時を過ごせました。翌日27日のゴルフコンペには山岳班員3人に大島先生のご参加と、在郷同期生の協力参加者5人の計9人の出席を得、最高のゴルフ日和の中で楽しい一日を過ごすことができました。

ラウンド後は反省会とゴルフ談議、またまたここでも病気の話で花を咲かせ、これから東京・大阪に帰る者がいるとのことで早々に切り上げ、出席者全員次回の再会を約束し解散致しました。

本会にご協力参加いただきました鋤柄・大島両先生並びに在郷の三七会の皆さん、本当にありがとうございました。班員一同感謝致しております。次回もご協力の程宜しくお願い致します。（文＝馬淵洸　記）

【出席者】鋤柄泰先生、北林明、木下往勇、竹村昭夫、筒井基安、中島伊佐夫、西村将伸、平松和純、福澤正支、牧野一元、馬淵洸、森正生▽ゴルフ出席者＝大島明先生、木村美智子、越田孝吉、林徳清、福澤正支、馬淵洸、吉川正晃、筒井基安、中谷勝好、

古墳

本紙などが伝える地域に密着したニュースをテープに録音し、目の不自由な人たちに届けている「鼎声のボランティアグループ」（鈴木智子会長）は8日、恒例行事。ことしも利用者たちがハーモニカやコカリナを演奏して感謝の気持ちを伝え、「千の風になって」や「水色のワルツ」「だんなさま」など多彩な曲を披露したり、一緒に歌ったりして交流を深

同グループが取り上げているニュースは、テレビやラジオでは放送されない身近な地元のニュース。マイクに向かって本紙などの新聞記事を交代で読み、録音してテープを送っている。

ん（高森町）に一飯日が注目しているリニア中央新幹線や三遠南信自動車道など身近な話題が楽しみ」と話した。

ニュースのほかに届けられる本の朗読や、前段に収録される会員たちの近況報告を喜ぶ

する人、テープのダビングを手伝ってくれる人、機械操作にアドバイスをくれるボランティアスタッフを募集している。問い合わせは事務局の同市鼎図書館（電話㉓9901）へ。